

○分数関数

標準形 $y = \frac{k}{x-p} + q$

⇒ 基本形 $y = \frac{k}{x}$ を平行移動した曲線

⇒ 定義域は $x \neq p$

(分母) $\neq 0$

⇒ 値域は $y \neq q$

y は分数を隠して

⇒ 漸近線は $x = p, y = q$

○分数関数のグラフのかきかた

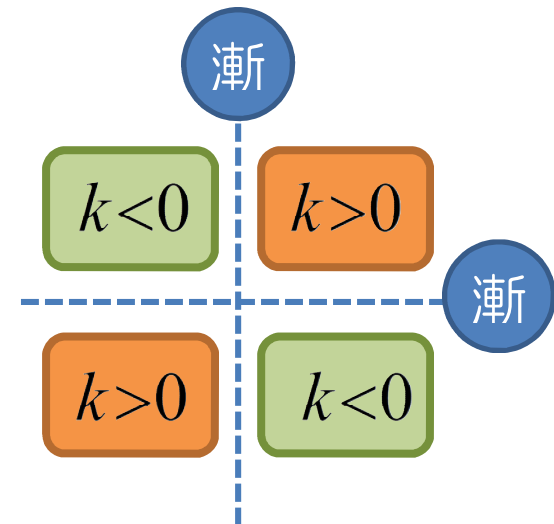
標準形 $y = \frac{k}{x-p} + q$

1. 漸近線をひく

切片は $x=0$ or $y=0$ 代入

2. 「切片 or 通る点」を調べ点を打つ

3. 基本形をもとに
グラフ本体を描く



○無理関数

$$y = k\sqrt{a(x-p)}$$

⇒ 基本形 $y = \sqrt{ax}$ を平行移動した曲線

⇒ 定義域は

(ルートの中身) ≥ 0

⇒ 値域は

k の符号を見よ

○無理関数のグラフのかきかた

$$y = k\sqrt{a(x-p)}$$

切片は $x=0$ or $y=0$ 代入
通る点は根号が外れる値を

1. 定義域・値域を調べる
2. 「切片 or 通る点」を調べ点を打つ
3. 定義域や値域、通る点や切片をもとにグラフ本体を描く